

【流通科学大学の教員養成の理念】

教員に求められる豊かな人間性と社会性、教員としての職業モラルと自己研鑽、学部専門教育を基盤とした専門知識や授業実践能力と指導力を兼ね備え、真に豊かな社会の実現に貢献できる人材を育成する。

1. 教員に求められる豊かな人間性と社会性

子どもたちの人格形成に関わる一人の人間として、豊かな人間性や社会性、広く豊かな教養と常識、生徒を理解し深く関わることができるコミュニケーション能力などの人格的資質を養成する。また、社会の多様な在り方や地域特性に配慮し、信頼を築き、保護者や地域社会との連携・協働により、広く地域全体の教育力の組織的な改善・充実に貢献することができる資質能力を、教職課程や教養科目、学科専門科目などの授業や課外活動・ボランティア活動などの大学生活全体を通じて、育成する。

2. 教員としての職業モラルと自己研鑽

教育に対する使命感や情熱、生徒に対して責任感を持ち、高い倫理観と規範意識に基づき職責を果たすことができる教員を育成する。また、生徒の発達や心身の状況に応じて、抱える課題を理解し、教育的愛情を持って、適切な指導にあたることができる資質能力を養成する。

これらの使命感、責任感、職業モラル、及び、教育的愛情の資質能力を、教職課程や教養科目、学科専門科目などの授業や課外活動・ボランティア活動などの大学生活全体を通じて、養成する。

さらに、変化の著しい社会や学校、生徒たちに適切に対応するため、常に必要な教育の在り方を追究し、修養に努め、自らの資質を向上させる態度を身に付ける。

3. 学部専門教育を基盤とした専門知識や授業実践能力と指導力

教職や教科に関する専門知識、新たな学びを展開することができる授業実践能力、教科指導や生活・進路指導のための知識と技能を身に付けた、幅広い視野と深い学識を備えた人材を育成する。

これらは、教職に関する科目や教科に関する科目は当然のこと、全ての科目（双方向型授業、参画型授業、課題解決型授業など）を通じて、実践的に習得する。

さらに、本学の教育目的にもあるように「問題を発見し、分析し、持続可能な解決策を構想する能力」や「知識や理論を発展させ、実践的なスキルに変換する力」を養うことで、学校や地域社会が抱える教育課題を発見し解決に取り組む力を身に付ける。